

○青梅市梅の里再生プロジェクト (抄)

〔平成29年6月27日認定〕

変更後	変更前																														
1～3 (略) 4 地域再生計画の目標 【数値目標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>K P I</th> <th>観梅期における梅の公園の来園者数</th> <th>年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請時</td> <td>7,441人(H28.3時)</td> <td><u>2017年3月</u></td> </tr> <tr> <td>初年度</td> <td>30,000人</td> <td><u>2018年3月</u></td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>50,000人</td> <td><u>2019年3月</u></td> </tr> <tr> <td>3年目</td> <td>80,000人</td> <td><u>2020年3月</u></td> </tr> </tbody> </table> 5 地域再生を図るために行う事業 5-1 (略) 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府):【A2007】 (1)・(2) (略) (3) 事業の目的・内容 (目的) (略) (事業の内容)	K P I	観梅期における梅の公園の来園者数	年月	申請時	7,441人(H28.3時)	<u>2017年3月</u>	初年度	30,000人	<u>2018年3月</u>	2年目	50,000人	<u>2019年3月</u>	3年目	80,000人	<u>2020年3月</u>	1～3 (略) 4 地域再生計画の目標 【数値目標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>K P I</th> <th>観梅期における梅の公園の来園者数</th> <th>年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請時</td> <td>7,441人(H28.3時)</td> <td><u>H29.3</u></td> </tr> <tr> <td>初年度</td> <td>30,000人</td> <td><u>H30.3</u></td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>50,000人</td> <td><u>H31.3</u></td> </tr> <tr> <td>3年目</td> <td>80,000人</td> <td><u>H32.3</u></td> </tr> </tbody> </table> 5 地域再生を図るために行う事業 5-1 (略) 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府):【A2007】 (1)・(2) (略) (3) 事業の目的・内容 (目的) (略) (事業の内容)	K P I	観梅期における梅の公園の来園者数	年月	申請時	7,441人(H28.3時)	<u>H29.3</u>	初年度	30,000人	<u>H30.3</u>	2年目	50,000人	<u>H31.3</u>	3年目	80,000人	<u>H32.3</u>
K P I	観梅期における梅の公園の来園者数	年月																													
申請時	7,441人(H28.3時)	<u>2017年3月</u>																													
初年度	30,000人	<u>2018年3月</u>																													
2年目	50,000人	<u>2019年3月</u>																													
3年目	80,000人	<u>2020年3月</u>																													
K P I	観梅期における梅の公園の来園者数	年月																													
申請時	7,441人(H28.3時)	<u>H29.3</u>																													
初年度	30,000人	<u>H30.3</u>																													
2年目	50,000人	<u>H31.3</u>																													
3年目	80,000人	<u>H32.3</u>																													

- ・ウメ生産の早期再開・回復事業 (略)
- ・梅の公園および観光施設整備事業 (略)
- ・「梅の里」の魅力PR事業 (略)

→各年度の事業の内容

初年度 (略)

2年目) 苗木の育成管理および植栽の促進、主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備

啓発グッズ等を用いたPR活動

3年目) 苗木の育成管理および植栽の促進、主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備

啓発グッズ等を用いたPR活動

(4) (略)

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (KPI))

【数値目標】

KPI	観梅期における梅の公園の来園者数	年月
申請時	7,441人(H28.3時)	<u>2017年3月</u>
初年度	30,000人	<u>2018年3月</u>
2年目	50,000人	<u>2019年3月</u>
3年目	80,000人	<u>2020年3月</u>

(6) 事業費

(単位：千円)

ウメ生産の早期再開・回復事業	年度	2017	2018	2019	合計
	事業費計	3,000	<u>3,400</u>	<u>2,700</u>	<u>9,100</u>
区分	委託料	3,000	<u>3,400</u>	<u>2,700</u>	<u>9,100</u>

- ・ウメ生産の早期再開・回復事業 (略)
- ・梅の公園および観光施設整備事業 (略)
- ・「梅の里」の魅力PR事業 (略)

→各年度の事業の内容

初年度 (略)

2年目) 主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備

3年目) 主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備

(4) (略)

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (KPI))

【数値目標】

KPI	観梅期における梅の公園の来園者数	年月
申請時	7,441人(H28.3時)	<u>H29.3</u>
初年度	30,000人	<u>H30.3</u>
2年目	50,000人	<u>H31.3</u>
3年目	80,000人	<u>H32.3</u>

(6) 事業費

(単位：千円)

ウメ生産の早期再開・回復事業	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	3,000	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3,000</u>
区分	委託料	3,000	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3,000</u>

梅の公園および 観光施設整備事 業	年度	<u>2017</u>	<u>2018</u>	<u>2019</u>	合計
	事業費計	19,000	<u>68,600</u>	<u>97,400</u>	<u>185,000</u>
区分	委託料	1,000	1,500	0	2,500
	工事費	13,000	<u>62,400</u>	<u>95,500</u>	<u>170,900</u>
	原材料費	5,000	<u>4,700</u>	<u>1,900</u>	<u>11,600</u>

梅の里の魅力 P R 事業	年度	2017	2018	2019	合計
	事業費計	3,000	<u>100</u>	<u>100</u>	<u>3,200</u>
区分	需用費	3,000	<u>100</u>	<u>100</u>	<u>3,200</u>

(7) 申請時点での寄附の見込み

寄附企業	年度	<u>2017</u>	合計
	寄附額計	1,000	1,000
	西武信用金庫	1,000	1,000

(8) (略)

(9) 事業期間 2017年6月～2020年3月

5-3 (略)

6 計画期間

地域再生計画認定の日から 2020年3月31日まで

7 (略)

梅の公園および 観光施設整備事 業	年度	<u>H29</u>	<u>H30</u>	<u>H31</u>	合計
	事業費計	19,000	<u>50,000</u>	<u>25,000</u>	<u>94,000</u>
区分	委託料	1,000	1,500	0	2,500
	工事費	13,000	<u>44,500</u>	<u>25,000</u>	<u>82,500</u>
	原材料費	5,000	<u>4,000</u>	<u>0</u>	<u>9,000</u>

梅の里の魅力 P R 事業	年度	<u>H29</u>	<u>H30</u>	<u>H31</u>	合計
	事業費計	3,000	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3,000</u>
区分	需用費	3,000	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>3,000</u>

(7) 申請時点での寄附の見込み

寄附企業	年度	<u>H29</u>	合計
	寄附額計	1,000	1,000
	西武信用金庫	1,000	1,000

(8) (略)

(9) 事業期間 平成 29年6月～平成 32年3月

5-3 (略)

6 計画期間

地域再生計画認定の日から 平成 32年3月31日まで

7 (略)

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

青梅市梅の里再生プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

青梅市

3 地域再生計画の区域

青梅市の全域

4 地域再生計画の目標

青梅市と梅との関わりは大変深く、「青梅」という地名の由来は、市内の古刹にある「平将門誓いの梅」と呼ばれる梅樹の実が、秋になっても青々として落ちないことから名付けられたと伝えられており、全国の市の中で唯一、市の名前に「梅」の文字を冠している。

また、梅は、昔から市内各地に果実の収穫や花の観賞のために植えられており、市民に親しまれるとともに、重要な観光資源となってきた。

中でも、本市の梅郷地区は梅の実の生産、加工や梅の盆栽・樹苗等で生計を立てている農家が多く存在するとともに、日本経済新聞において、おすすめの梅の名所ランキングで日本一となった吉野梅郷の代表スポット「梅の公園」を中心に多くの観光客が訪れる観梅の名所になっていた。

しかし、平成21年4月、青梅市内の梅樹から日本で初めてウメ輪紋ウイルス（以下、「PPV」という。）の発生が確認されたため、農林水産省は平成22年2月から植物防疫法にもとづく緊急防除を開始し、これまで、「梅の公園」をはじめ市内全域で、36,000本を超える梅樹が伐採された。

これにより、青梅市では、梅生産において壊滅的な被害を受け、最盛期には観梅期のみで約120,000人もの来園者数があった「梅の公園」は、全伐後には7,000人程度の来園者数に激減するなど、梅に関連した観光・商業事業においても深刻な影響を受けた。

このようなかつて経験したことのない厳しい状況を踏まえ、平成27年4月から青梅市が主体となって、地域住民等の協力のもと、PPVに対する強化対策に取り組んだ結果、平成28年10月に一部の地域での梅の再植栽が可能となった。

本事業は、市民、農業者、観光・商業事業者、行政等が、一丸となってこの危機をチャンスとして捉え、これを乗り越え、一刻も早く梅の里を再生・復興させるため、失われた梅林を再生させるとともに、「梅の公園」等

の施設整備を進めることにより、梅生産の早期再開や、多くの観光客が訪れる観梅名所の復活により、梅の里の再生を目指すものである。

【数値目標】

K P I	観梅期における梅の公園の 来園者数	年月
申請時	7,441人(H28.3時)	2017 年3月
初年度	30,000人	2018 年3月
2年目	50,000人	2019 年3月
3年目	80,000人	2020 年3月

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2(3)に記載

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府):【A2007】

(1) 事業名:梅の里再生プロジェクト

(「梅の公園」を中心とした梅の里の農業振興事業および観光施設等整備事業)

(2) 事業区分:観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

農地への梅樹の再植栽を促進するとともに、新しい栽培技術の導入支援などを行い、梅生産者への支援体制の充実を図り、ウメの早期の生産・出荷を目指す。

「梅の公園」等への早期植栽や施設整備を行うとともに、多くの観光客が訪れるよう、周辺観光エリアとの連携を強化し、地域一体としての観光エリアを目指す。

(事業の内容)

・ウメ生産の早期再開・回復事業

P P Vの影響により激減した梅園を昔の状態に戻すため、市外において健全に育成した苗木の植栽を促進するとともに、ジョイント栽培等用資材の購入支援等の早期成園化に向けた必要な支援を行う。

・梅の公園および観光施設整備事業

観光客が長く市内に滞在できるよう、梅の公園への植栽および施設整備を進めることにより観光客の誘致を図るとともに、市内にある梅にまつわる観光施設を整備することにより、人の流れを誘導し、地区内の商店への来店数を上げ、経済効果の向上を目指す。

・「梅の里」の魅力P R事業

観梅の名所日本一となった吉野梅郷地区「梅の里」の魅力や再生情報を、啓発グッズ等を用い広くP Rすることにより、観光客の増加を目指す。

→各年度の事業の内容

初年度) 苗木の育成管理および植栽の促進、ジョイント栽培用資材の購入支援

主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備
啓発グッズの配布、デジタルサイネージを利用したP R活動

2年目) 苗木の育成管理および植栽の促進、主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備
啓発グッズ等を用いたP R活動

3年目) 苗木の育成管理および植栽の促進、主要施設内への梅樹植栽、歩行者通路、柵、ベンチ等の整備
啓発グッズ等を用いたP R活動

(4) 地方版総合戦略における位置付け

「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のうち「基本目標2」において、「梅の里再生事業」が位置付けられており、当該「梅の里再生プロジェクト」は、梅林の再生、梅の公園等の施設整備を進め、梅生産の早期再開や、多くの観光客が訪れる観梅名所の復活により、当該戦略の達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

K P I	観梅期における梅の公園の 来園者数	年月
申請時	7,441人(H28.3時)	2017年3 月
初年度	30,000人	2018年3 月
2年目	50,000人	2019年3 月
3年目	80,000人	2020年3 月

(6) 事業費

(単位：千円)

ウメ生産の早期 再開・回復事業	年度	2017	2018	2019	合計
	事業費計	3,000	3,400	2,700	9,100
区分	委託料	3,000	3,400	2,700	9,100

梅の公園および 観光施設整備事 業	年度	2017	2018	2019	合計
	事業費計	19,000	68,600	97,400	185,000
区分	委託料	1,000	1,500	0	2,500
	工事費	13,000	62,400	95,500	170,900
	原材料費	5,000	4,700	1,900	11,600

梅の里の魅力 P R 事業	年度	2017	2018	2019	合計
	事業費計	3,000	100	100	3,200
区分	需用費	3,000	100	100	3,200

(7) 申請時点での寄附の見込み

寄附企業	年度	2017	合計
	寄附額計	1,000	1,000
	西武信用金庫	1,000	1,000

(8) 事業の評価の方法 (P D C A サイクル)

(評価の手法)

事業のK P I である観梅期における梅の公園の来園者数を公表する。

また、本市の農業者、観光業者、および地元自治会の代表者からなる梅の里再生計画推進委員会により、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度末、外部有識者（梅の里再生計画推進委員会）による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する予定。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに青梅市公式HP上で公表する。

(9) 事業期間 2017年6月～2020年3月

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から2020年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

事業のKPIである観梅期における梅の公園の来園者数を公表する。
また、外部委員で構成される「青梅市梅の里再生計画推進委員会」で、目標の達成状況を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を見直すこととする。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

毎年度末、「青梅市梅の里再生計画推進委員会」で効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後ホームページ上で公表する。